

善了寺ニュース 2月号

善了寺日記

あつというまに、二月になりました。寒さがきびしくなっております。みなさんいかがお過ごしでしょうか。

悲しみを受け止める大慈悲心

この一月は、ご往生のご縁に、多くあわせて頂きました。阿弥陀如来様の大慈悲の中に抱かれていたとは言え、その悲しみの深さに思わず、言葉を失ってしまう自分があります。年齢を問わず、死を受け止めてゆくことのおもみを感ずるにはおれません。

どうか、共々に御聴聞をさせていただきましよう。阿弥陀如来様の大慈悲をお聞かせいただくばかりです。親鸞聖人は、私たちの悲しみ嘆くところは決して往生の妨げにはならないことを語りかけてくださいます。(『口伝鈔』第十七章) 悲しみ嘆く凡夫こそ本願のめあてであるとあなたかく語りかけてくださいます。

阿弥陀如来様の大慈悲をお聞かせいただくとき、安心して涙を流せる生活が開かれてまいります。どうか、自分のものさしで、悲しみを計らないでください。他の人々と比べて悲しみを受け止めようとしないでください。涙をなみだのままに、悲しみを悲しみのままに、粗末にしない・・・御一緒に受け止めてくださるのが阿弥陀如来様の大慈悲であることをご聴聞させていただきますましよう。

定例法話会が毎月八日の午後二時からございます。是非お参りください。ここからお待ち申し上げます。

今月の主なメニュー

- 1, 善了寺日記
- 2, 門徒通信
- 3, 行事案内
- 4, お知らせ
- 5, 還る家ともに日誌

発行責任：浄土真宗本願寺派

善了寺住職 成田智信

第164号

発行日：平成22年2月1日

一期一会のじゆん

先月もお知らせしましたが、お寺の直ぐ近くにカフェ・チャドラーというコミュニティカフェがオープンしました。事務局長として運営に関わっております。スタッフに一期一会を大切にしようと思っております。この生涯でこの出会いは二度とないと思っております。若し大学生も、老少不定の身であることにかわりはありません。上つ面な接する態度は、直ぐに見抜かれます。

有機のコーヒーやお米にこだわるのも単なる健康志向では、生命の重みを考えることにつながりません。いいものを食べても死を迎えるときには、死を迎えていくのです。生きる意味を共に学ぶ場だからこそ、いのちを粗末にしない

門徒通信

効くと云う寒の水もて薬飲む

鎌倉 山本照子

切り干しのしわの数より

生きて来し

矢部町 金子育代

いつもご投稿ありがとうございます。思いを伝える一句にこころから敬意を表します。また、ご投稿をお待ち申し上げます。

住職 合掌

食のあり方が問われてくるのだと思つています。それは、「今」を粗末にしないという学びのメッセージでした。美食ではなく、生活の中で、できることからはじめていくことが大切だと思えます。どうぞ、お寺にお参りの際には是非カフエ・チャドローにもお立ち寄りください。

重要なお知らせ

平成22年の寺維持費・墓地管理費の納入につきましては、事務処理上の都合、善了寺ニュース3月号にて、振り込み用紙を同封させて頂きます。何卒御了承頂きますようお願い申し上げます。

住職 合掌

仏教女性会 ふじの会

今年初めての仏教女性会「ふじの会」です。是非ご参集ください。



日時
2 / 24 (水)
午後2時～

住職雑感

先日、しばらく会っていなかった御門徒の方と、カフエ・テラ・テラのご縁で会うことができました。阿弥陀如来様の大慈悲のおはたらきを思わずにはおられませんでした。一期一会とは、私に語りかけている言葉でした。一座・一座の御法要を大切にしなければと思いを新にしました。季節の変わり目、みなさんお体をこ自愛ください。

平成22年2月・3月の行事予定

定例法話会 2 / 8 (月) 14時

定例法話会 3 / 8 (月) 14時

親鸞聖人つきまいり 2 / 16 (火) 9時

親鸞聖人つきまいり 3 / 16 (火) 9時

女性会「ふじの会」例会
2 / 24 (水) 14時

春季彼岸会期間
3 / 17 (火) ~ 23日(月)

「子ども会」・「聞法の会」については、ただ今来年度に向けて、リニューアルを準備中です。しばらくお待ちください。

鎌倉組連研同窓会 3 / 28 (日) 13時
テーマ 「鎌倉門徒と親鸞聖人」
講師 津田徹英 師
会場 成福寺



いっぱい泣いて いっぱい笑って
ふれあいデイサービス「還る家ととも」
介護保険事業所番号 1471001428

毎週 月曜日～土曜日まで
時間帯 午前10時～午後4時

お気軽にご相談ください。